

3. 調査結果報告

3-3. オフィストイレの満足度、ストレス・不満点

普段利用している**オフィストイレの満足度**として、
2つの評価軸で調査・分析を行った。

1. 現在主に利用している「**オフィストイレの総合満足度**」について
100点満点で評価してもらった。
2. オフィストイレの総合満足度に関連するであろう「**個別要因**」を
12項目提示し、それぞれの「**満足度**」について**±5点**で評価してもらった。

オフィストイレの「総合満足度（100点満点）」の比較（シス/トランス）

- 総合満足度は、シス全体の70.4点に対し、トランス全体は9.2点低い61.2点であった。
- シスの男女に得点差はほとんど無いが、トランスはジェンダーによりバラつきがあり、特にXジェンダーの点数が低いことが目立つ。

Q.あなたが普段利用している職場のトイレの「総合満足度」を100点満点でお知らせください。

100点満点

シスジェンダー		トランスジェンダー		
全体	70.4点	全体	61.2点	
男性	70.0点	トランス 4 区分	FTM	64.6点
女性	70.8点		FTX	57.1点
			MTX	56.4点
			MTF	64.3点

オフィストイレの「総合満足度（100点満点）」の比較（トランスジェンダー）

- 職場でのトイレ利用「希望と実態の一致・不一致」、社内でのカミングアウトの有無により、総合満足度の点数に大きな差がある。
- トイレ利用の希望と実態が不一致、カミングアウトしていない場合はいずれも総合満足度は50点未満。

Q.あなたが普段利用している職場のトイレの「総合満足度」を100点満点でお知らせください。

100点満点

トランスジェンダー			
職場のトイレ利用 希望と実態の一致・不一致		社内でのカミングアウトの有無	
一致	69.7点	カミングアウト している	62.7点
不一致	49.1点	カミングアウト していない	49.9点

- ✓ トイレ利用の希望と実態が一致している人の中には、「出生時戸籍性別のトイレ」で一致している人や「自認する性別のトイレ」で一致している人等さまざま、どのトイレで一致しているかにより満足度に差がみられた。

※この調査結果は、カミングアウトを推奨したり否定したりするものではありません。

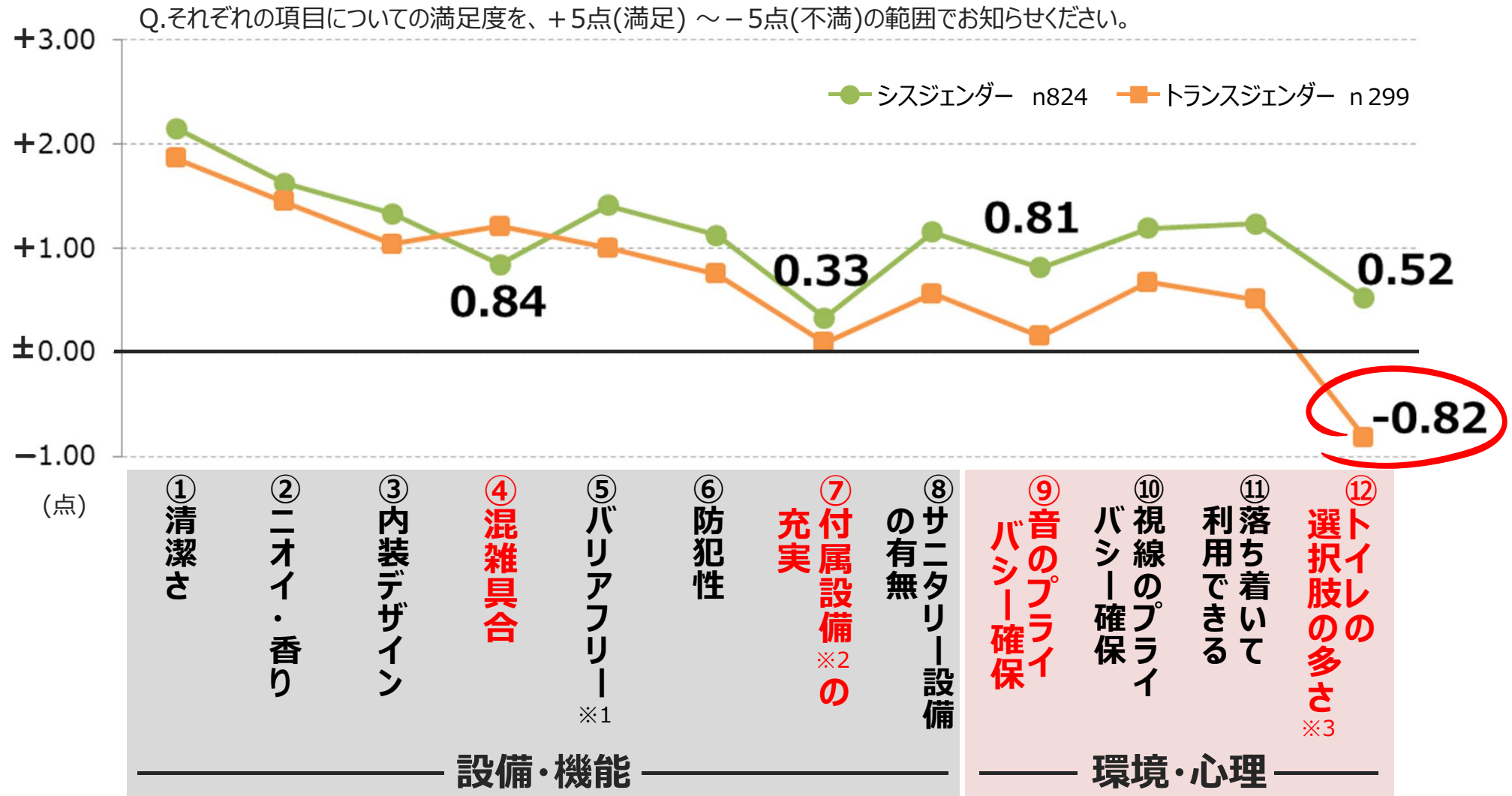
オフィストイレの総合満足度に関連する「個別要因」12項目

➤ 下記12項目について、それぞれの「満足度」を±5点で評価

No.	個別要因	
①	清潔さ	設備・機能
②	ニオイ・香り	
③	内装のデザイン（照明も含む）	
④	混雑具合	
⑤	バリアフリー（段差がない、手すりが付いているなど）	
⑥	防犯性	
⑦	付属設備（温水洗浄便座、パウダーコーナー、荷物置場など）の充実	
⑧	サニタリー設備（生理用品や尿取りパット用ゴミ箱）の有無	
⑨	音のプライバシー確保	環境・心理
⑩	視線のプライバシー確保	
⑪	落ち着いて利用できる	
⑫	トイレの選択肢の多さ（男女別、多機能、男女共用など）	

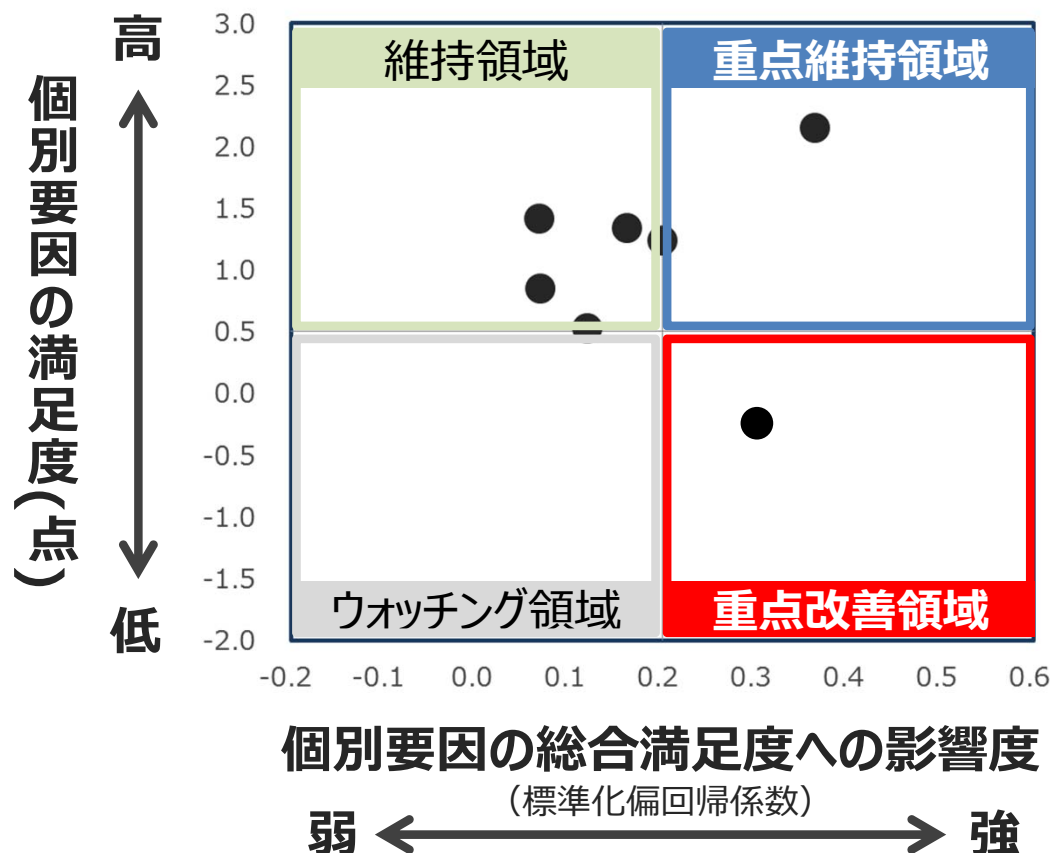
「個別要因」12項目の評価平均点（シス/トランス）

- 全体的にシスよりもトランスの方が評価点が低く、特に「環境・心理」に関する項目での差が大きい。
- 「混雑具合」、「付属設備の充実」、「音のプライバシー確保」、「トイレの選択肢の多さ」はシスの評価も低く、1点未満。「トイレの選択肢の多さ」のトランス評価はマイナス点。



満足度調査：ポートフォリオ分析について

- 今回の調査では、オフィスタイルに関する2つの満足度評価軸を総合して分析するにあたり、ポートフォリオ分析を用いた。
- ポートフォリオ分析により、「オフィスタイルの総合満足度」を上げていくための改善項目を洗い出し、さらにその優先順位をあきらかにすることをめざした。
- 各要因がプロットされる4つの領域※のうち、右下の「重点改善領域」に属した要因が、最も優先順位の高い改善項目である。



※各領域の名称は、ほかの名称で表現される場合もある。

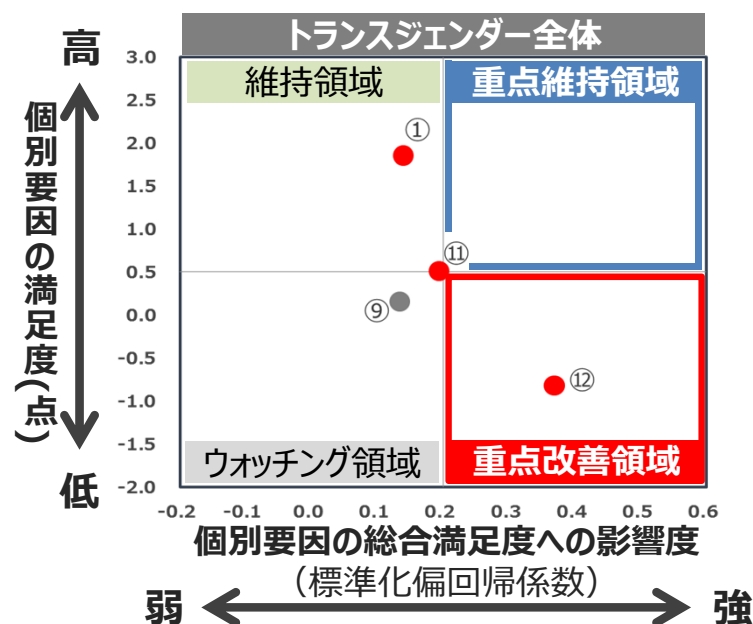
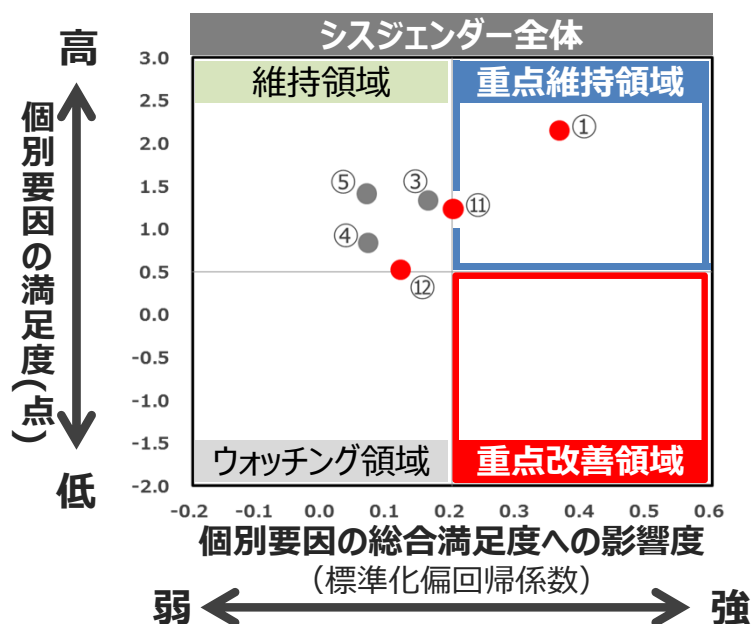
※本資料では、複数の分析項目で比較するため、上2つと下2つの領域の区切りを揃えている。

総合満足度への影響要因の比較：ポートフォリオ分析（シス/トランス）

ジェンダー	シスジェンダー全体	トランスジェンダー全体
総合満足度	70.4点	61.2点
共通要因	①清潔さ、⑪落ち着いて利用できる、⑫トイレの選択肢（男女別、多機能、男女共用など）	
特有要因	③内装のデザイン ④混雑具合 ⑤バリアフリー※	⑨音のプライバシー確保

※バリアフリー（段差がない、手すりがついているなど）

【総合満足度へ影響する個別要因の分布】 ● 共通要因 ● 特有要因



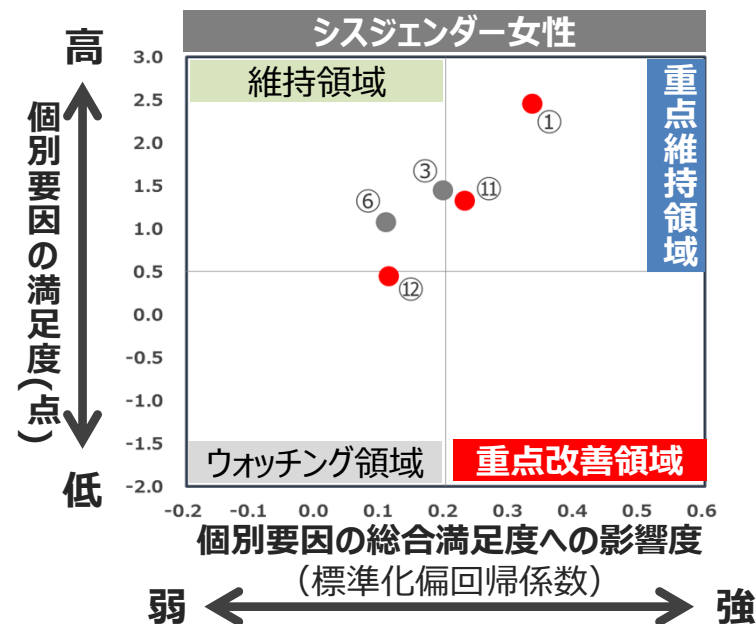
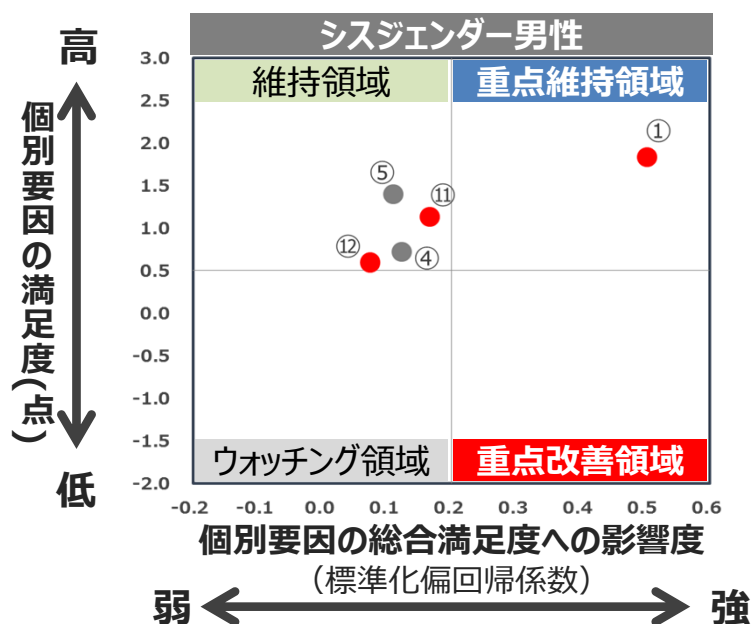
- ✓ シス・トランスの共通要因の中でも⑫トイレの選択肢の多さについては、トランスでは重点改善領域に属しており、最重要課題である。他の要因に比べて影響度が強いにもかかわらず満足度が低いことから、トランスの総合満足度の足を引っ張る要因といえる。シスでは重点改善領域に属してはいないものの、満足度は他の要因に比べ最も低い。
- ✓ シスの重点維持領域には①清潔さが属しており、他の要因よりも影響度が強くかつ満足度も高いことから、シスの総合満足度を牽引している要因といえる。一方トランスの重点維持領域に属する要因は出現せず、これもトランスの総合満足度が低い原因となっている。
- ✓ シスの特有要因は③内装のデザイン、④混雑具合、⑤バリアフリーといった設備・機能面であるのに対し、トランスの特有要因は⑨音のプライバシー確保という環境・心理面の要素であった。

総合満足度への影響要因の比較：ポートフォリオ分析（シス男女）

ジェンダー	シスジェンダー男性	シスジェンダー女性
総合満足度	70.0点	70.8点
共通要因	①清潔さ、⑪落ち着いて利用できる、⑫トイレの選択肢（男女別、多機能、男女共用など）	
特有要因	④混雑具合 ⑤バリアフリー※	③内装のデザイン ⑥防犯性

※バリアフリー（段差がない、手すりがついているなど）

【総合満足度へ影響する個別要因の分布】 ● 共通要因 ● 特有要因

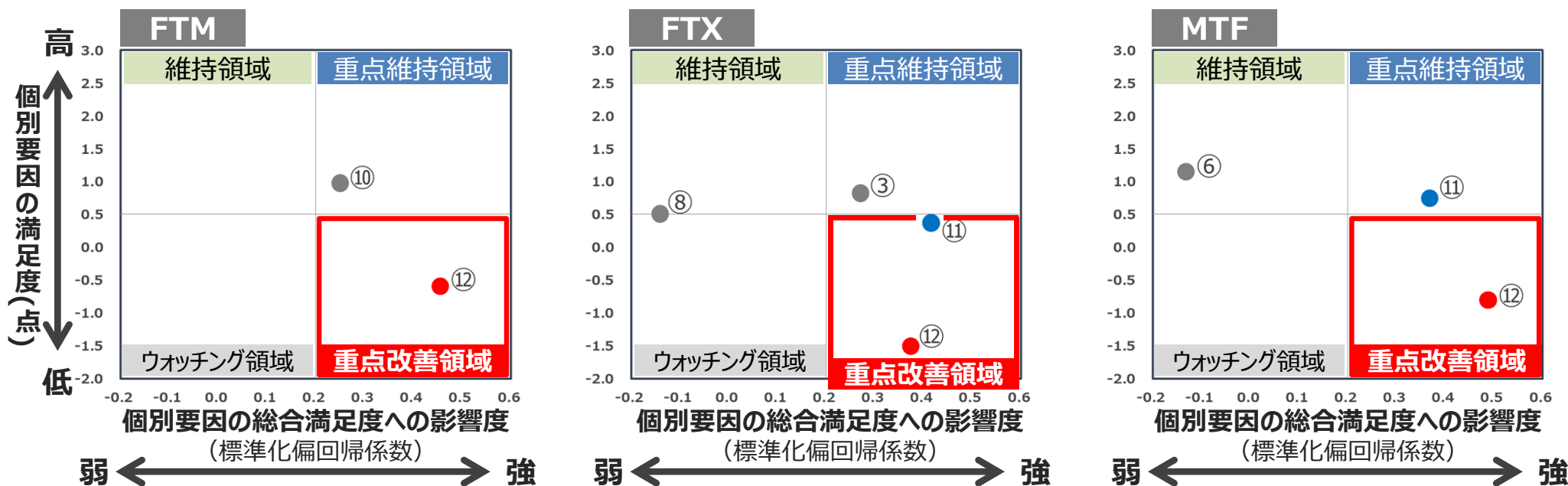


- ✓ シス男女の共通要因は①清潔さ、⑪落ち着いて利用できる、⑫トイレの選択肢の多さである。
- ✓ シス男性の特有要因は④混雑具合、⑤バリアフリー、シス女性の特有要因は③内装のデザイン、⑥防犯性であり、男女間で視点の違いがみられた。

総合満足度への影響要因の比較：ポートフォリオ分析（トランス4区分）

トランス4区分	FTM	FTX	MTF	MTX
総合満足度	64.6点	57.1点	64.3点	56.4点
3区分共通要因	⑫トイレの選択肢（男女別、多機能、男女共用など）			強い影響要因がみられなかったため、ポートフォリオの図は非掲載
FTX・MTF共通要因	⑪落ち着いて利用できる			
特有要因	⑩視線のプライバシー確保	③内装のデザイン ⑧サニタリー設備の有無	⑥防犯性	

【総合満足度へ影響する個別要因の分布】 ●3区分共通要因 ●FTX・MTF共通要因 ●特有要因

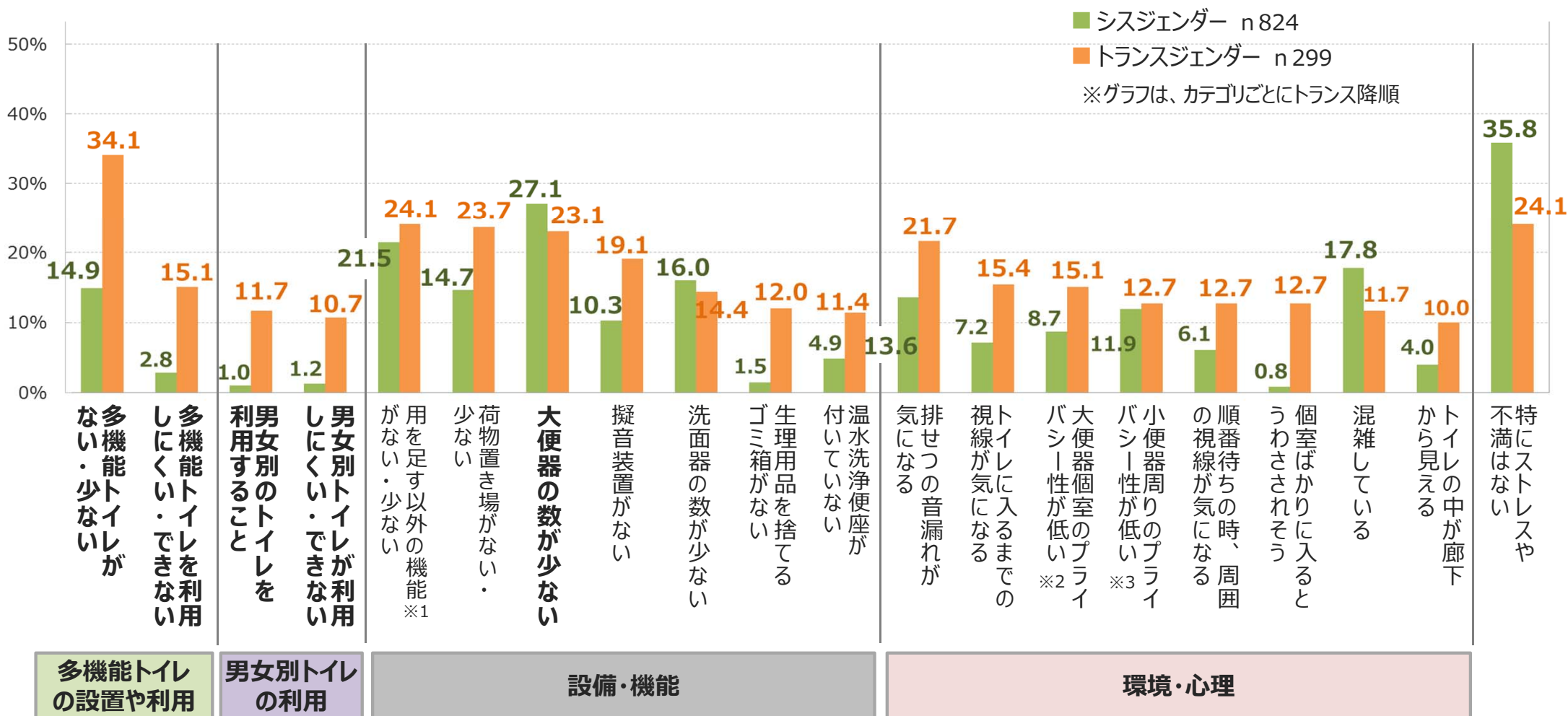


- ✓ トランス3区分（FTM・FTX・MTF）の共通要因は⑫トイレの選択肢の多さであり、いずれも重点改善領域に属している。
- ✓ FTMには⑩視線のプライバシー確保、FTXとMTFには⑪落ち着いて利用できる、の環境・心理要素が出現している。

オフィストイレのストレス・不満点 (シス/トランス)

- トランスでは、「多機能トイレがない・少ない」が約34%でトップ、シスも約15%がストレスに感じている。
- シスのトップは「大便器の数が少ない」の約27%。
- 「多機能トイレ」や「男女別トイレ」の“利用”に関するストレスは、シスとトランスで約10ポイントの差がある。

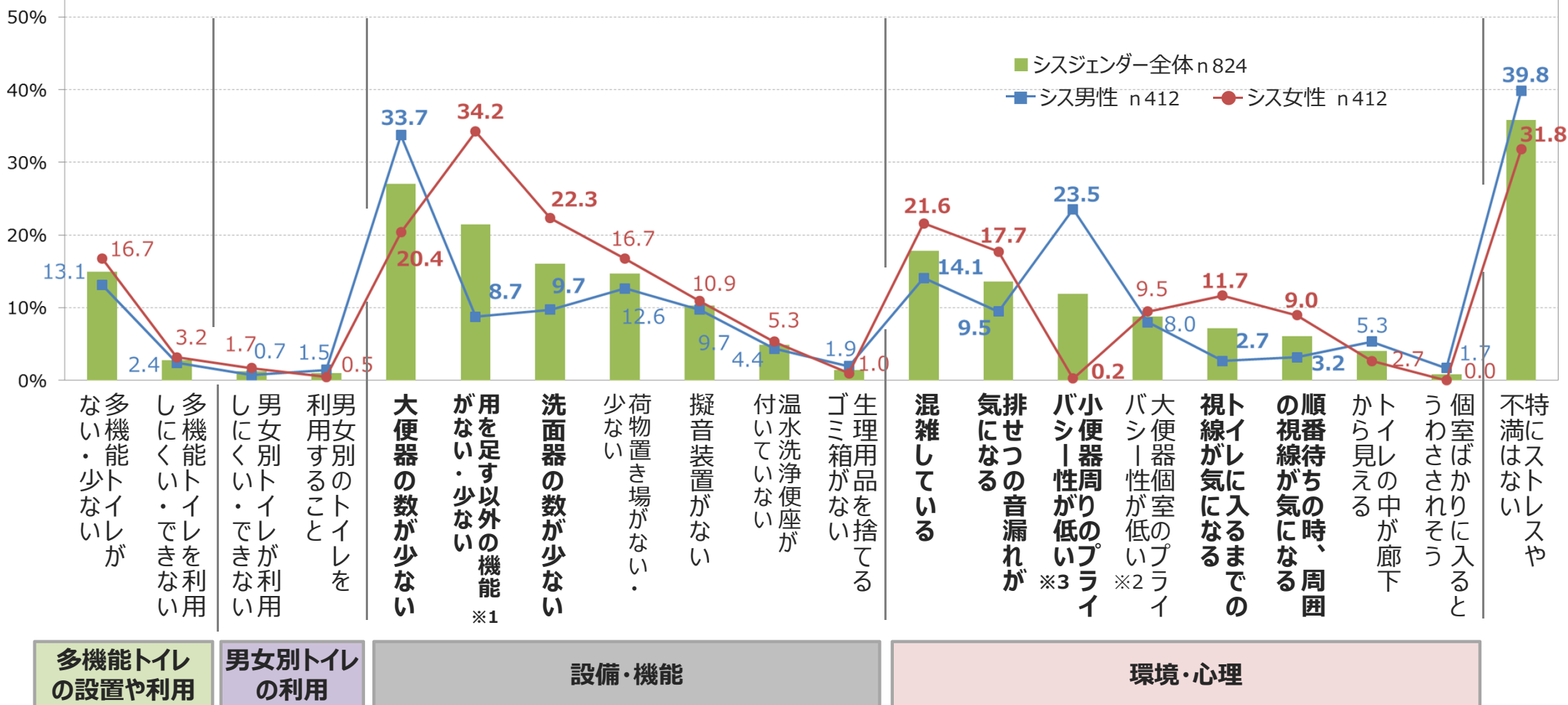
Q.あなたが主に利用しているオフィストイレについて、ストレスや不満に感じていることは？（複数回答）



オフィストイレのストレス・不満点 (シス・シス男女)

- 「多機能トイレの設置や利用」および「男女別トイレの利用」については、男女の差はあまりみられなかった。
- シス男性は「大便器の数が少ない」が3割以上でトップ、シス女性は「用を足す以外の機能がない・少ない」が3割以上でトップ。
- 男女間で10ポイント以上の差がある項目は、「大便器の数」「用を足す以外の機能」「洗面器の数」であった。

Q.あなたが主に利用しているオフィストイレについて、ストレスや不満に感じていることは？（複数回答）



多機能トイレの設置や利用

男女別トイレの利用

設備・機能

環境・心理

オフィストイレのストレス・不満点（トランス・トイレ利用一致／不一致）

- トイレ利用の希望と実態が「不一致」の方が、「一致」よりも全体的にストレスを感じている。
- 中でも20ポイント以上の差があったのは、「多機能トイレの設置や利用」「男女別のトイレを利用すること」および「大便器個室のプライバシー」であった。
- 「不一致」の人の約半数が、「多機能トイレがない・少ない」ことをストレスに感じていると回答。

